平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場会社名　日本コークス工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3315　URL　http://www.n-coke.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 西尾　仁見
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役人事・総務部長　(氏名) 鍜治屋　和博　TEL 03-5560-1311
四半期報告書提出予定日　平成25年11月8日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	53,646	△4.0	3,646	59.2	3,232	79.3	1,899	90.3
25年3月期第2四半期	55,871	△14.4	2,290	△67.3	1,802	△72.5	998	△77.2

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　1,938百万円　(104.5%)　25年3月期第2四半期　947百万円　(△78.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	6.30	—
25年3月期第2四半期	3.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	112,865	41,511	36.7
25年3月期	118,045	40,479	34.2

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　41,408百万円　25年3月期　40,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00			
26年3月期(予想)			—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,300	△5.6	7,300	13.4	6,000	14.7	3,100	2.3	10.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

※上記業績予想値は、前回(平成25年8月2日)公表した業績予想値と変更ありません。詳細は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	302,349,449 株	25年3月期	302,349,449 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	625,367 株	25年3月期	621,407 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	301,727,337 株	25年3月期2Q	301,819,055 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産が持ち直し、企業収益や設備投資にも同様の動きが見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの業績は、主力のコークス事業において、前年同期比で原料炭価格が下落したことに伴い製品価格が下落したことなどにより、当第２四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比22億２千５百万円減少の536億４千６百万円となり、利益面では、原料炭コスト削減努力などにより、連結営業利益は、前年同期比13億５千６百万円増加の36億４千６百万円、連結経常利益は、前年同期比14億２千９百万円増加の32億３千２百万円、四半期純利益は、前年同期比９億１百万円増加の18億９千９百万円となりました。

（セグメントの概況）

コークス事業につきましては、前述の理由などにより、売上高は、前年同期比31億８千４百万円減少の326億３千万円、営業利益は、前年同期比12億２千６百万円増加の33億５千万円となりました。

燃料販売事業につきましては、売上高は、前年同期比１千９百万円減少の136億９千６百万円、営業利益は、前年同期比１億４千１百万円減少の８億５百万円となりました。

総合エンジニアリング事業につきましては、売上高は、前年同期比５億２千１百万円増加の46億３千４百万円、営業利益は、１億２千４百万円（前年同期は１千３百万円の営業損失）となりました。

その他につきましては、売上高は、前年同期比４億５千７百万円増加の26億８千４百万円、営業利益は、前年同期比６千４百万円増加の１億２千３百万円となりました。

なお、当社グループは、コークス事業の更なる競争力強化や、石炭販売をはじめとする非コークス部門の収益力強化による多面的な利益構造への転換を進めており、これらの施策に注力できる体制作りと、それぞれの部門の営業力をはじめとする機能強化を目的とした会社組織の変更を実施し、これに伴い、第１四半期連結会計期間から、報告セグメントのうち、前連結会計年度まで掲記していた「石炭・コークス関連事業」を、「コークス事業」および「燃料販売事業」に分割しております。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ51億８千万円減少の1,128億６千５百万円となりました。増減の主なものは、受取手形及び売掛金の減少16億８千４百万円、原材料及び貯蔵品の減少14億４百万円、機械装置及び運搬具の減少12億８千２百万円等であります。

当第２四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ62億１千２百万円減少の713億５千３百万円となりました。増減の主なものは、支払手形及び買掛金の減少57億９千５百万円、長期借入金の減少39億３千８百万円、流動負債「その他」の減少10億４千６百万円、短期借入金の増加40億５千８百万円等であります。

当第２四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金の増加などにより、10億３千２百万円増加の415億１千１百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年８月２日に公表した平成26年３月期第１四半期決算短信において、連結業績予想値は、「第３四半期以降の原料炭価格およびコークス販売価格が未定であることなどから、平成25年５月10日に公表した平成25年３月期決算短信の通期業績予想値を変更しておりません」として公表いたしました。

その後、第３四半期の原料炭価格が決定し、かつ、コークス販売価格についても、一定の見通しを得るに至りました。その結果、通期業績に大きな変動はない見込みであることから、平成26年３月期の連結業績予想値は、前回（平成25年８月２日公表）の予想値と変更ありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（当社役員退職慰労金制度の廃止および打切り支給）

当社は、役員等の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規定に基づく要支給額を計上しておりましたが、平成25年６月27日開催の第10回定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止および打切り支給が決議されました。

同制度の廃止に伴い、在任中の役員等に対し、本制度廃止までの在任期間に対する役員退職慰労金を打切り支給することとし、その支給時期については、各役員等の退任時とすることにいたしました。

これにより、当社の役員等に対する役員退職慰労引当金は全額を取崩し、流動負債「その他」および固定負債「その他」に計上しております。

なお、一部の連結子会社は、役員退職慰労引当金を計上しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,787	3,560
受取手形及び売掛金	10,407	8,722
商品及び製品	7,489	7,223
仕掛品	548	738
原材料及び貯蔵品	9,299	7,895
その他	3,160	3,002
貸倒引当金	△18	△15
流動資産合計	34,675	31,127
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	66,973	68,175
減価償却累計額	△38,765	△41,250
機械装置及び運搬具（純額）	28,208	26,925
土地	39,637	39,442
その他	21,719	21,885
減価償却累計額	△13,575	△13,760
その他（純額）	8,144	8,125
有形固定資産合計	75,990	74,493
無形固定資産		
その他	563	553
無形固定資産合計	563	553
投資その他の資産		
その他	6,830	6,704
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	6,816	6,691
固定資産合計	83,370	81,738
資産合計	118,045	112,865

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,547	11,751
短期借入金	16,181	20,239
1年内償還予定の社債	14	14
未払法人税等	465	890
賞与引当金	713	745
関係会社整理損失引当金	522	519
その他	5,600	4,554
流動負債合計	41,044	38,715
固定負債		
社債	86	79
長期借入金	28,581	24,642
退職給付引当金	4,315	4,332
役員退職慰労引当金	160	51
環境対策引当金	3,019	2,984
その他	358	548
固定負債合計	36,521	32,638
負債合計	77,566	71,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	31,743	32,737
自己株式	△106	△106
株主資本合計	40,387	41,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	39
繰延ヘッジ損益	△135	△102
為替換算調整勘定	73	90
その他の包括利益累計額合計	△29	27
少数株主持分	122	103
純資産合計	40,479	41,511
負債純資産合計	118,045	112,865

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	55,871	53,646
売上原価	50,579	47,060
売上総利益	5,292	6,586
販売費及び一般管理費	3,002	2,939
営業利益	2,290	3,646
営業外収益		
受取配当金	60	162
受取保険金	－	68
その他	323	91
営業外収益合計	383	323
営業外費用		
支払利息	507	366
その他	364	371
営業外費用合計	871	737
経常利益	1,802	3,232
特別利益		
固定資産売却益	115	54
関係会社株式売却益	－	17
補助金収入	143	－
その他	9	0
特別利益合計	269	72
特別損失		
固定資産除却損	142	301
減損損失	329	－
その他	185	89
特別損失合計	656	391
税金等調整前四半期純利益	1,415	2,913
法人税、住民税及び事業税	229	829
法人税等調整額	236	202
法人税等合計	465	1,032
少数株主損益調整前四半期純利益	950	1,880
少数株主損失（△）	△48	△18
四半期純利益	998	1,899

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	950	1,880
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	7
繰延ヘッジ損益	△4	32
為替換算調整勘定	2	16
その他の包括利益合計	△2	57
四半期包括利益	947	1,938
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	995	1,957
少数株主に係る四半期包括利益	△48	△18

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

１．前第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計額	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	35,815	13,716	4,112	53,644	2,227	55,871	－	55,871
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	508	508	426	934	△934	－
計	35,815	13,716	4,620	54,152	2,653	56,806	△934	55,871
セグメント利益又は損失（△）	2,123	946	△13	3,056	59	3,116	△826	2,290

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△826百万円は、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△842百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．当第２四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年９月30日）

（１）報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計額	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	32,630	13,696	4,634	50,961	2,684	53,646	－	53,646
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	585	585	161	746	△746	－
計	32,630	13,696	5,219	51,546	2,846	54,393	△746	53,646
セグメント利益	3,350	805	124	4,280	123	4,404	△757	3,646

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△757百万円は、セグメント間取引消去９百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△766百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（２）報告セグメントの変更等に関する情報

当社グループは、コークス事業の更なる競争力強化や、石炭販売をはじめとする非コークス部門の収益力強化による多面的な利益構造への転換を進めており、これらの施策に注力できる体制作りと、それぞれの部門の営業力をはじめとする機能強化を目的とした会社組織の変更を実施し、これに伴い、第１四半期連結会計期間から、報告セグメントのうち、前連結会計年度まで掲記していた「石炭・コークス関連事業」を、「コークス事業」および「燃料販売事業」に分割し、これらに従来から掲記している「総合エンジニアリング事業」を加えた３区分に変更しております。

なお、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。